



# 羅針盤

2014年度 第14号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部  
2014.12.3



一昨年あたりから、入試の出願をインターネットで受け付ける「WEB出願」の大学が増えてきましたが、今年はますます多くの大学が使っています。

首都圏の主要大学ではたとえば、お茶の水女子大学、亜細亜大学、桜美林大学、神奈川大学、共立女子大学、上智大学、成蹊大学、成城大学、玉川大学、東京電機大学、東京農業大学、東洋大学、日本大学、文教大学、明治学院大学などが積極的に取り入れています。旺文社教育情報センターによれば、国公立・私立あわせて66大学が今年から新たに導入するそうです。

WEB出願とはどのような方式か、たとえば東洋大学は次のようにHPで告知しています。  
出願の流れ



- ・出願登録はインターネット上で行う。また、志願票等を印刷するためにプリンターが必要。
- ・出願登録後、「志願票」・「宛名ラベル」を A4 用紙に印刷する。
- ・入学検定料支払方法を確認し、支払期限内にコンビニエンスストア、または銀行 ATM(ペイジー)で入学検定料を納入する。
- ・市販されている角 2 封筒に宛名ラベルを貼付し、出願用封筒を作成、出願書類を封入する。
- ・郵便局窓口から「簡易書留・速達」で送付する。

この例のように、現在のところ完全にインターネットだけで出願が完了するわけではなく、郵送と両方が必要な大学がほとんどのようです。それでも

- ・インターネット出願による受験料の割引を実施している大学が多い。
- ・入学願書を取り寄せる必要がないので、出願期間内であれば、直前でも出願できる。
- ・必要事項を入力フォームに入力するので、書き直しができるし、エラーチェック機能により入力漏れなどのミスを防げる。

などのメリットがあり、採用大学が年々増えています。その一方で

- ・出願に必要な証明書等は発行に時間がかかる場合があるので、早めの準備が必要。
- ・受験料の払い込みの際には、金融機関でなくとも必ず領収証を受け取り日付を確認する。
- ・書留郵便などは郵便局の窓口が開いている時間内に発送する必要がある。

などの注意点があります。

また個人情報の管理に不安を覚える受験生もいること、インターネット環境に恵まれない受験生への配慮が必要なことなどから、まだまだ改善が望まれる点もあるようです。



文部科学省では、国公立大学及び短期大学の入学者選抜の実施状況について、毎年度調査を実施し、これを公表しています。平成26年度の入学者選抜の実施状況は10月に発表されました。主要部分を抜粋して以下に掲載します。

◆全般的実施状況

区分	国立	公立	私立	計
入学志願者数	395,116 人 (404,061 人)	157,843 人 (154,767 人)	3,492,896 人 (3,425,863 人)	4,045,855 人 (3,984,691 人)
志願倍率	4.1 倍 (4.2 倍)	5.6 倍 (5.5 倍)	7.7 倍 (7.6 倍)	7.0 倍 (6.9 倍)
合格者数	108,139 (108,274)	37,864 (37,800)	1,194,584 (1,146,580)	1,340,587 (1,292,654)

(注) ( )は前年度の数值。入学志願者数は延数。

◆一般入試の実施状況

区分	国立	公立	私立	計
募集人員(B)	80,948	20,688	255,959	357,595
志願倍率	4.3 倍	6.7 倍	11.8 倍	9.8 倍
合格者数	92,529	29,714	913,620	1,035,863
入学者数(A)	84,438	22,109	232,867	339,414
過欠員(A-B)	3,490	1,421	△23,092	△18,181

◆推薦・AO入試の実施状況

年度	推薦入試			AO入試(国公立)			AO入試(私立)		
	大学数	学部数	入学者数	大学数	学部数	入学者数	大学数	学部数	入学者数
26	735 (98.7%)	2,109 (93.4%)	205,849 (34.4%)	69 (41.8%)	169 (29.8%)	3233 (2.6%)	469 (80.9%)	1,153 (68.1%)	48,129 (10.3%)
25	730 (98.6%)	2,065 (93.9%)	211,167 (34.9%)	70 (42.9%)	172 (31.0%)	3207 (2.4%)	466 (80.8%)	1,154 (70.2%)	49,095 (10.3%)
24	731 (98.7%)	2,050 (93.9%)	206,942 (34.8%)	70 (42.9%)	174 (31.4%)	3416 (2.7%)	466 (80.5%)	1,132 (69.4%)	47,210 (10.2%)

(注) ( )は大学数・学部数・入学者数それぞれの全体数に対する割合。

◇表から読み取れること

- ・国立大学について、入学志願者数が1万人近く減少。一方で公立大学、私立大学については入学志願者数が大きく増加した。
- ・国公立大学について合格者数はほとんど変わらないが、私立大学は合格者数が5万人近く増加している。しかし、一般入試における私立大の定員不足は2万人を超えている。
- ・推薦入試について、実施する大学数、学部数は増加したが、入学者数は減少している。
- ・推薦入試は大半の大学が実施していて全入学者数に占める割合は1/3を超えている。
- ・推薦入試とAO入試による入学者数の合計は、全入学者数のほぼ半分を占めている。
- ・AO入試は、私大では8割が実施しているが国公立では半数以下にとどまっている。

以上